

第40回全国公民館研究集会東京大会

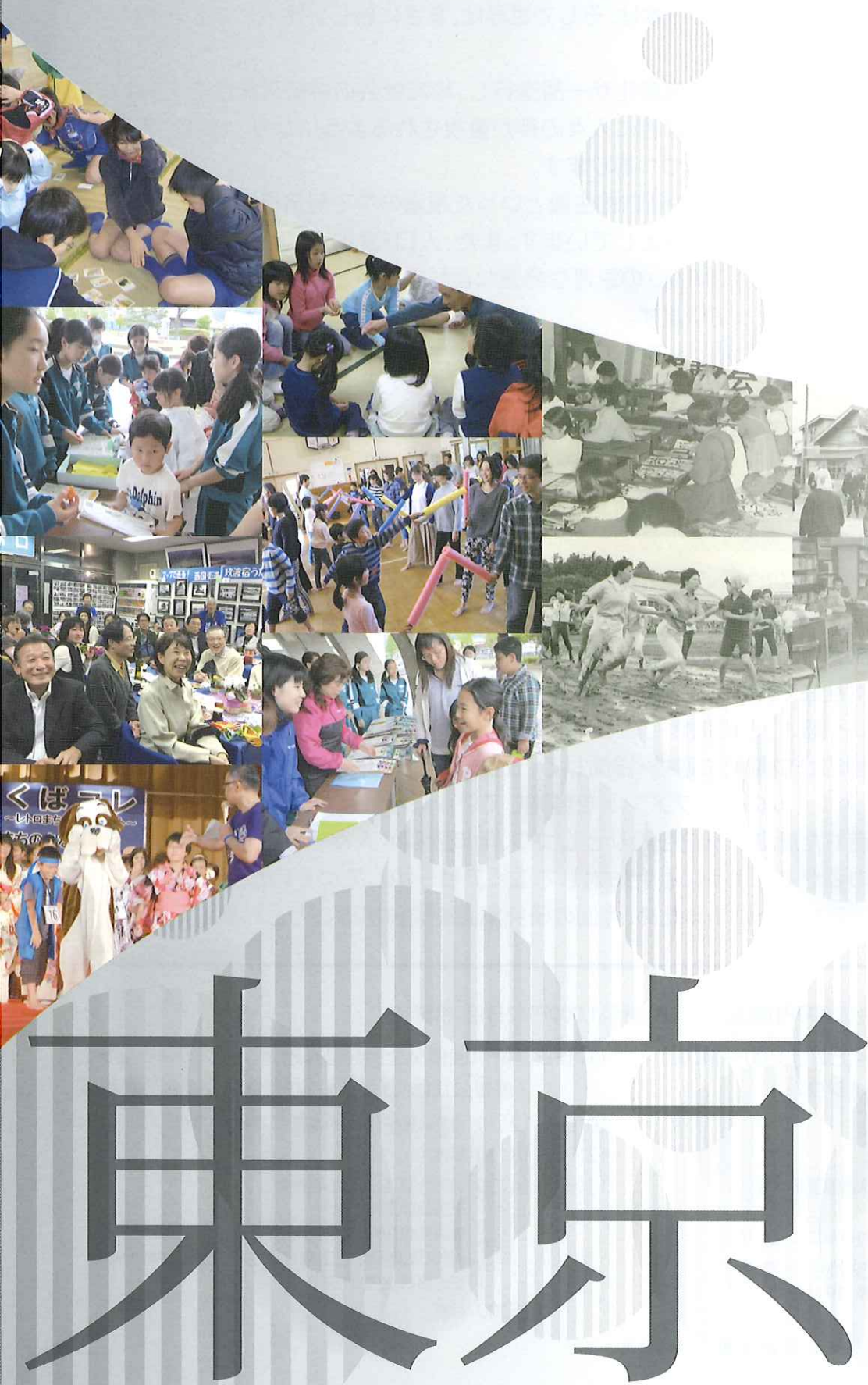
【主催】 公益社団法人 全国公民館連合会

【後援】 文部科学省(予定)、全国公民館振興市町村長連盟、社会教育団体振興協議会

【期日】 平成30年11月1日(木)・2日(金)

【会場】 日本青年館(東京メトロ銀座線 外苑前駅 徒歩5分)

地域性・個別性を活かした新しい公民館活動を！
公民館がひらく日本の未来



東京

第40回全国公民館研究集会東京大会

公民館がひらく 日本の未来

～地域性・個別性を活かした新しい公民館活動を！～

21世紀に入って20年が経過した今日、日本は、そして世界は、まさに新しい時代に差しかかっています。

日本では、総人口が減少に転じて少子高齢化が一層進行し、地域社会の持続可能性そのものが課題とされる一方、東日本大震災の後には特に人々の絆が重視されるようになり、地域社会のあり方と人々の生活意識が大きく変質しつつあります。

世界に目を転じると、グローバリズムや新自由主義といった風潮の中で経済格差の拡大や文明間の衝突・紛争といった新たな課題が浮上しています。また、人口・食糧・環境・エネルギー等の諸問題に加えて、生命科学やAI(人工知能)の急速な発達など科学技術と人類社会との調和まで課題として意識されるようになってきました。

公民館は、戦後の焦土の中から^{ほうはい}澎湃として生まれ、人間尊重、生涯教育・学習、住民自治といった理念に立ち、地域づくり・人づくりの中核的機関として、地域住民や関係者の営々たる努力に支えられてきました。その過程では、高度経済成長や都市化の進展、さらには行財政改革・規制緩和・地方分権等の動向などさまざまな荒波に大きく影響を受けながらも、館ごとの地域性・個別性を生かした魅力ある活動実践に努めてきました。

しかし昨今は、公民館数や職員数の減少傾向が続いており、公民館の意義と役割そのものが歴史的な岐路・転換点に差しかかっていると深刻に受け止めざるを得ません。

このような問題意識の下、公民館関係者は、2009年(平成21年)の前回大会以降、戦後の寺中構想以来の「公民館の存在意義」を問い直し、原点に立ち返った議論を真剣に積み重ねてきました。

地域社会ひいては日本社会の輝かしい未来を切り拓くためには、公民館は、今こそ「学びを通して住民自身が地域をつくる！」との信念を高らかに宣明する必要があります。そして、多くの関係機関や関係者と積極的かつ柔軟に連携・協働して、公民館をネットワークの起点とした新しい時代の地域づくり・人づくりのムーブメントを展開していかなければなりません。

苦難とともに栄光に満ちた歴史と伝統を誇りとしつつ、地域課題や人々の暮らしに即応して常に変わりゆく公民館の姿をどのように社会に対して広くアピールしていくのか、時代認識を共有して今後に向けた決意を新たにすため、今回の研究集会を開催することとしました。

【参加費】 3,000円 ※情報交換会:5,000円(希望者) ※弁当代:1,000円(2日目、希望者)

【内 容】	11月1日/特別講演 池上彰(13:00~14:00)	11月2日/第71回優良公民館優秀館プレゼンテーション大会
	14:00~17:00/シンポジウム	優良公民館・社会教育功労者・全公連合同表彰式
	司 会 村松真貴子	10:00~12:30 優良公民館・最優秀審査会、候補館プレゼンテーション
	登壇者 池上彰	12:30~13:30 昼食
	牧野篤(東京大学)	13:30~14:30 国歌斉唱、公民館の歌斉唱
	吉田博彦(NPO法人教育支援協会)	来賓及び主催者紹介
	文部科学省など	最優秀館、優秀館発表、審査委員講評、表彰状授与
	優れた実践発表(広島県大竹市玖波公民館など)	謝辞(最優秀館、社会教育功労者、全公連表彰代表)
	18:00~19:30/情報交換会(懇親会)	記念撮影、表彰状伝達
	各都道府県公連会長・副会長・事務局長・	15:00 解散
	その他希望者参加可	

※諸事情により、登壇者やプログラムが変更になる場合がございます。